

意見交換会報告書

令和6年7月22日

尾張旭市議会議長 殿

委員名 (議員名) 櫻井直樹

開催日時	令和6年7月16日 (火) 午後7時30分～午後8時30分
開催場所	尾張旭市中央公民館303会議室A
出席議員	櫻井直樹、榊原利宏、さかえ章演、早川八郎、丸山幸子 安田吉宏、若杉たかし、松原たかし (議長) 計8人
参加人数	議員8名 学童クラブ連絡会 8名 計16名
団体名	尾張旭市学童クラブ連絡会
テーマ	尾張旭市の放課後児童健全育成事業理解に向けて
主な意見 ・提言等	<p>(テーマ補足説明)</p> <p>尾張旭市は、公設公営の児童クラブと公設民営の指定管理の児童クラブ、さらに民設民営の学童クラブが共存共栄しており市民のニーズに答えている状況ではあるが、近年の区画整理事業などもあり、ニーズが高まってきているので、さらなる公民連携が必要だと思われます。</p> <p>様々な状況を少しずつ把握していただき、子育て世帯への総合的な支援のお力添えにつないでいただきたい。</p> <p>[質疑 (議員)] 現在の待機児童の状況について</p> <p>[応答 (学童クラブ連絡会)]</p> <p>どの施設も待機児童が出ている状態で、小学3年生以上は、入れない施設もある。夏休みだけ、入れて欲しいという問い合わせもあるが、とても受け入れられる状態ではない。</p> <p>次年度の新規申込者も受け入れができるか分からない。</p>

<p>主な意見 ・提言等</p>	<p>事前質問①</p> <p>子どもが必要とする期間、負担に思うことなく放課後児童クラブ（学童クラブ）に通い続けられることが、保護者の就労保障のためにも必要ですが、希望する児童も年々増加傾向にあり、学区によっては待機児童も出ています。何か待機児童解消のために、考えておられることはありますか。</p> <p>[担当課の回答]</p> <p>公立の児童クラブだけではなく、民間学童クラブと合わせ、地域ニーズに応えることができるように、学童クラブの移転などによる定員増も含め、待機児童解消に向けて対応していかねばならないと考えている。</p>
	<p>事前質問②</p> <p>待機児童を解消するためにも、我々も児童の受け入れを拡大するため、場所の確保をしたいと考えています。しかしながら、現状、学童クラブに見合った貸店舗や貸家もなく、空き家も探していますが限界があります。このような現象を把握されていますか。</p> <p>[担当課の回答]</p> <p>こども課としても学童クラブとして利用可能な不動産の情報を地元の方などから、賃貸にあがってこない空き家物件なども含め情報を収集しているが、学童クラブの利用に見合うものは少なく、地域を限るとさらに厳しい状況であると認識している。決定的な解決策はないが、今後も引き続き情報を収集するなどし、学童クラブの物件探しに協力していきたい。</p>
	<p>[質疑（議員）] 学童クラブ施設の床面積などの基準について</p> <p>[応答（学童クラブ連絡会）]</p> <p>法律上は、一人あたり 1.65 平米という規定がある。施設周辺環境は、小学校に近い方が利用しやすいが、施設拡大が必要な現在は、学校区内であれば、どこでも良い状況にある。</p> <p>【意見】</p> <p>現状は、学童クラブに入れない待機児童が多く、転居を考えている家族もいる状況である。現状では、若い世代の定住も難しいと考えられる。</p> <p>市として、待機児童をなくすために、施設の増設を検討して欲しい。</p>

<p>主な意見 ・提言等</p>	<p>【アンケート集計】</p> <p>時 間：十分1名、やや短い3名、短い3名</p> <p>評 価：満足3名、やや満足3名、やや不満1名</p> <p>気付いた点：現状を聞いて頂き、意識の共有が出来て良かった。 全員で問題を解決するという思いが強まった。</p> <p>そ の 他：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の物を貸与という形で保育の場所を提供して頂けたら有難い。 ・子どもたちがどんな場所で過ごしているのかを見に来ていただきたい。 <p>【まとめ】</p> <p>学童クラブの待機児童が出ている状況の中で、施設を増設するにも、学童クラブ運営に適した物件がなく、解決策が見いだせないのが現状である。</p> <p>定員を増やして待機児童をなくすためには、施設の拡充が必要であり、そのための市への要望が強い。</p>
----------------------	---